

令和元年9月20日
文 京 区

独立行政法人国際協力機構（JICA）が発行する
ソーシャルボンド（社会貢献債）の購入について

文京区は、積立基金の運用を通じた社会貢献への取組として、独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」という。）が発行する「ソーシャルボンド（社会貢献債）」を購入しました。

JICA は、開発途上地域の経済及び社会の開発若しくは復興又は経済の安定に寄与することを通じて、国際協力の促進並びに我が国及び国際経済社会の健全な発展に資することを目的として国の全額出資により設立された独立行政法人で、開発途上地域に対する技術協力や資金協力等を行い、持続可能な国際社会の実現に貢献しています。

ソーシャルボンドは、調達された資金が社会課題への対応を目的とした事業分野に充当される債券で、JICA 債は、国際的に広く認知されている国際資本市場協会（ICMA）が定義する「ソーシャルボンド」の特性に従った債券である旨のセカンド・オピニオン（発行者：株式会社日本総合研究所）を取得しています。また、JICA 債の発行は、2016年12月に決定された日本政府の「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」においてSDGsを達成するための具体的施策の一つとしても位置付けられています。

文京区は、引き続き、UN Women（国連女性機関）日本事務所との連携等を通じて社会課題の解決に貢献する取組を進め、今後も、持続可能な社会の形成に向けた社会的責任を果たしてまいります。